

気候情報

2023年3月の日本の天候

- 気温は北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった
- 日照時間は北・東・西日本日本海側と北・西日本太平洋側でかなり多かった
- 降水量は北・東・西日本日本海側で少なかった

3月の天気概況

全国的に、大陸からの寒気の影響を受けにくく、日本の東海上を中心に高気圧が強かったため、南からの暖かい空気が流れ込みやすかった。上旬から中旬を中心に高気圧に覆われやすかったため、月間日照時間はほぼ全国的に多かった。西高東低の気圧配置となりにくく、気圧の谷の影響を受けにくかった北・東・西日本日本海側の月降水量は少なかったが、下旬には北・東・西日本太平洋側や沖縄・奄美を中心に低気圧や前線の影響でまとまった雨が降った日があった。

上旬：高気圧に覆われやすく、西高東低の気圧配置となりにくかったため、ほぼ全国的に旬降水量は少なく、旬間日照時間は多かった。東日本日本海側では旬間日照時間がかかなり多かったが、期間のはじめと終わりに前線が通過してまとまった雨が降った日があった。北・東・西日本では大陸からの寒気の影響を受けにくく、暖かい空気が流れ込んだ日もあった。沖縄・奄美は期間の前半に冷涼な高気圧に覆われた。

旬平均気温は、北・東・西日本でかなり高かった。沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、東・西日本太平洋側、西日本日本海側、沖縄・奄美でかなり少なく、北日本日本海側と北日本太平洋側で少なかった。東日本日本海側では平年並だった。

旬間日照時間は、東・西日本日本海側、東・西日本太平洋側、沖縄・奄美でかなり多く、北日本日本海側と北日本太平洋側で多かった。

中旬：全国的に天気は数日の周期で変わり、日本海を進む低気圧から延びる前線が通過した12日から13日は各地で曇りや雨となり、18日頃には本州南岸を低気圧が通過したため東・西日本太平洋側を中心にまとまった雨が降った。旬降水量は、東日本太平洋側で多かったが、西高東低の気圧配置となりにくかった北・東・西日本日本海側で少なかった。

旬平均気温は、北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった。

旬降水量は、東日本太平洋側で多かった。一方、北・東・西日本日本海側で少なかった。北・西日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、北・東・西日本日本海側と西日本太平洋側でかなり多く、北・東日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった。

下旬：本州南岸に前線が停滞したため東日本太平洋側から西日本、沖縄・奄美を中心に曇りや雨の日が多く、23日から24日にかけて本州付近を低気圧が通過して北・東・西日本太平洋側を中心に雨が降った。また、

22日には沖縄本島地方で線状降水帯が発生し、30日には沖縄・奄美で大雨となった所があった。一方、北日本日本海側は移動性高気圧に覆われやすく、西高東低の気圧配置となりにくかった。

旬平均気温は、全国的にかなり高かった。

旬降水量は、北日本太平洋側でかなり多く、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった。北・東・西日本日本海側では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側でかなり多く、北日本太平洋側と東日本日本海側で多かった。一方、沖縄・奄美でかなり少なく、東・西日本太平洋側で少なかった。西日本日本海側では平年並だった。

3月の気候統計

月平均気温：北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった。

月降水量：北・東・西日本日本海側で少なかった。北・東・西日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

月間日照時間：北・東・西日本日本海側と北・西日本太平洋側でかなり多く、沖縄・奄美で多かった。東日本太平洋側では平年並だった。

(気象庁大気海洋部観測整備計画課)

—— 3月の記録(1位更新のみ、タイ記録含む) ——

- ・月平均気温の高い方から(℃)
紋別(北海道) 3.3など114地点
- ・月降水量の少ない方から(mm)
新庄(山形県) 56.5
- ・月間日照時間の多い方から(h)
酒田(山形県) 204.7など25地点

2023年3月の平年差(比)図

